

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		終末期対応の在り方について、重度化に向けた指針等が未整備の為、マニュアル等の見直し・体制作りを行う。	重度化における指針等の整備と共に終末期への体制作りの見直しをする。	重度化における指針等の整備・家族の意向をふまえ終末期の体制を作り検討していく。看護師を中心に職員間の連携・マニュアルの見直しを行い体制作りを強化する。	6ヶ月
2		災害に備え非常用品の備蓄を準備すると共に地域近隣の方との連携もより深めていきたい。	非常食に関しては随時準備する。避難訓練・地域の防災訓練は確実に参加し協力関係を築いていく。	ホームの防災訓練時、近隣の方や区長様、民生委員の方にも声をかけさせて頂き見学して頂く。地域の防災訓練等できるだけ多くの方を参加させ地域の方に施設の存在を理解して頂けるようにする。	6ヶ月
3		馴染みの家具や置き物などはどの部屋も確立されているが、精神的にも落ちつけたり趣味やお一人お一人の好みに応じた物の配置をしていきたい。	外出・イベント時の写真の張付や一生懸命作った作品・思い出のあるもの等の配置にて、より落ち着ける環境を作る。	外出・イベント時の写真等はすでに職員が製作している。レクの時間を通して本人の能力に応じ職員と一緒に作業していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。